

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	② 沖縄独自の観光プログラムの創出
			施策の小項目名	○高付加価値型観光・着地型観光の推進
主な取組	国営沖縄記念公園首里城地区内施設、海洋博覧会地区内（沖縄美ら海水族館及び海獣施設等）の管理運営			
対応する主な課題	①観光リゾート産業のさらなる振興に向けては、沖縄の重要な観光資源である自然環境や「沖縄らしい」風景・景観の保全・再生を図りつつ、文化、スポーツ、医療サービス等を観光資源として利活用し、沖縄観光の魅力の再構築を図るなど、世界水準の観光リゾート地としてのブランドイメージを高めることが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
平成31年2月1日から、国営沖縄記念公園首里城地区内施設、海洋博覧会地区内施設（沖縄美ら海水族館及び海獣施設等）の管理運営を開始したが、令和元年10月31日に火災が発生し、国営沖縄記念公園首里城地区内施設は休場中であったが、令和2年6月12日から一部開園を行った。		H29	H30	R元	R2	R3
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	土木建築部都市公園課 【098-866-2035】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名		国営公園管理費（首里城）					R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度	OR4年度
県単等	その他	—	37,695	139,250	70,365	80,018	120,396	県単等	国営沖縄記念公園首里城地区内施設の管理運営を行った。	国営沖縄記念公園首里城地区内施設の管理運営を行う。

予算事業名		国営公園管理費（水族館）					R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度	OR4年度
県単等	その他	—	246,440	1,571,096	1,491,840	1,989,033	1,048,476	県単等	海洋博覧会地区内施設（沖縄美ら海水族館及び海獣施設等）の管理運営を行った。	海洋博覧会地区内施設（沖縄美ら海水族館及び海獣施設等）の管理運営を行う。

活動指標名	公園の管理運営				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	管理運営 の実施	管理運営 の実施	管理運営 の実施	管理運営 の実施	管理運営 の実施	100.0%	2,069,051	順調	指定管理者等の関係機関と連絡、調整を適宜行い国営沖縄記念公園首里城地区内施設、海洋博覧会地区内施設（沖縄美ら海水族館及び海獣施設等）の管理運営を行った。 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 国及び県のモニタリング実施や国、県及び指定管理者の三者による連絡調整会議の毎週開催し、管理運営にあたって必要な調整を随時行い適切な維持管理を図った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			

(2) これまでの改善案の反映状況

令和3年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染症拡大防止対策については、各施設で制定しているガイドラインを遵守するとともに、県全体の方針を踏まえ感染症予防等の徹底を図る。 オンラインツアー等の実施により利用促進を図る。 国及び県のモニタリング実施や国、県及び指定管理者の三者による連絡調整会議を毎週開催し、管理運営にあたって必要な調整を随時行い適切な維持管理を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染症拡大防止対策のため、県全体の方針を踏まえて約121日間休館した。開館期間中は各施設で制定しているガイドラインを遵守し運営を行った。 オンラインツアーやオンライン講座を実施し、利用促進を図った。 国及び県のモニタリング実施や国、県及び指定管理者の三者による連絡調整会議を毎週開催し、管理運営にあたって必要な調整を随時行った。

様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 県による管理期間は平成31年2月から令和5年1月末までとなっている。

○外部環境の変化

- ・ 新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い海洋博覧会地区内施設（沖縄美ら海水族館及び海獣施設等）及び国営沖縄記念公園首里城地区内施設における入場者数は減少傾向にある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 令和5年2月以降も沖縄県を代表する観光施設である両施設の県による管理を継続し、コロナからの観光回復を図る必要がある。
- ・ オンラインツアー等の取組を継続し、利用促進を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 令和5年2月以降も県管理を継続し、観光振興及び北部地域の活性化等を図る。
- ・ オンラインツアー等の取組を継続し、利用促進を図る。
- ・ 国及び県のモニタリング実施や国、県及び指定管理者の三者による連絡調整会議の毎週開催し、管理運営にあたって必要な調整を随時行い適切な維持管理を図る。